

ニュースレター第22号をお届けいたします。今号は樋野先生のお言葉と、韓国でカフェを主催されている平田尚子さんからのご報告です。

『真の国際人』 ～ 『日本肝臓論』 ～

樋野興夫 (順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長、恵泉女学園理事長)



2024年10月17日 『平田尚子先生 & 하현주先生』のお計らいで、韓国ソウルのミョンジ(Myongji)大学での講演『がん哲学とがん哲学外来 ～ 真の国際人 ～』にWifeと赴いた(添付)。

『真の国際人』

- (1) 幅の広さ
- (2) 弾力性に富む
- (3) 洞察と識見のひらめき
- (4) 世界の動向を見極めつつ歴史を通して今を見ていく
- (5) 複眼の思考を持ち、視野狭窄にならず、教養を深め、時代を読む

『日本肝臓論』

私は、『日本国のあるべき姿』として『日本肝臓論』を展開している。肝臓という『臓器』に、具体的なイメージが獲得されよう。人間の身体と臓器、組織、細胞の役割分担と お互いの非連続性の中の連続性、そして、傷害時における全体的な『いたわり』の理解は、世界、国家、民族、人間の在り方への深い洞察へと誘うのであろう。行動への意識の根源と原動力をもち、『はしるべき行程』と『見据える勇気』、そして世界の動向を見極めつつ、高らかに理念を語る『小国の大人物』出でよ！

『日韓中の医療の懸け橋』が制本されることが決定された。歴史的快挙となろう！今回は、大変貴重な『ソウルの訪問』となった。



がん哲学外来メディカルカフェ in ソウル ミヨンジ大学一周年記念メディカルカフェの報告

平田尚子

皆様のお祈りによって一周年をむかえることができましたこと、心から感謝申し上げます。

ガン哲学外来メディカルカフェ in ソウル

ミヨンジ大学は、昨年 10 月 31 日にはじめて樋野先生と青木さん、森さんをお迎えした 2023 年のメディカルカフェから 早いもので 1 年が経ちました。その間、毎月 1 回木曜日の午後のカフェをして 2024 年 10 月 17 日、11 回目のカフェは産声をあげてから、今よちよち歩きの 1 歳です。

今回、午前 10 時からメディカルカフェ in ソウル一周年記念メディカルカフェ、午後 2 時からミヨンジ大学融合ヘルスケア研究所主催の学術祭、日中韓カンファレンス<東北アジアにおけるヘルシープレジャーとヘルシーエイジングの実践>が行われました。樋野先生は午前中カフェでお話しをしてくださり、午後は論文<がん哲学とがん哲学外来「真の国際人」>の発表をしてくださいました。

樋野先生の奥様のジーンさんとともに出席されて花を添えてくださいました。

一日中の強行軍にもかかわらずチャウチャウスマイルで対応してくださり、スタッフをはじめ樋野先生の風貌に感激した、と皆さん口々に話しています。

カフェのプログラムは

- 1 カフェの 1 年間の歩み ハフンジュ教授
- 2 ミヨンジ大学大学院融合ヘルスケア学科主任教授
イジェボン教授からお祝いのことば
- 3 カフェに参加して
3 人の方のスピーチ
- 4 ゴスペルシンガー チェミさんの賛美
- 5 樋野先生のお話し
- 6 グループでの対話
- 7 グループリーダーからの話
- 8 樋野先生のお話し
- 9 お知らせ
- 10 記念撮影



(次ページに続く)

昨年の樋野先生のお話しは

- 1 度聞いてもわからない
- 2 度聞いてもわからない
- 3 度聞いたら首をかしげ
- 4 度聞いたらうなづく



と言ったらみなさん一同にうなづく、大笑いしたことが思い出されます。

今回は、PPT を韓国語に訳して準備をしたところ、みなさん 1 度聞いてうなづく、PPT をメモしたり写真を撮ったり、樋野先生の著書を持ってきてサインをお願いしたりと、とても積極的な方が多く見られました。

この 1 年のあいだに蒔かれた小さな種から双葉が出てきたような手応えを感じることができました。

お弁当で昼食の後、大講堂に場所を移して論文の発表をしてくださいました。午前のカフェに参加して午後も参加される方も多く、大学院生博士課程の学生、教授陣も多く出席し大盛況でした。

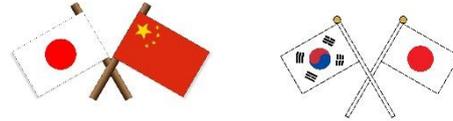
プログラムは

1 韓国

2 日本

気功の実演

3 中国



特に、樋野先生の講演のあとの質疑応答は個人の悩みも含めとても熱気に満ちた時になり樋野先生の言葉の処方箋がお一人お一人の心に希望の光がさしこむことを目の当たりにすることができました。

論文や PPT の翻訳や色々な手配、会場の準備などが、カフェ+カンファレンスと 2 倍の準備が必要で、もう来年は難しいかもしれないと言っていた夫も、みなさんの喜び感動する様子を見て、「来年はね本当に本を出せるといいね！」と言っています。

また、スタッフが自発的に組織を作って、私たち夫婦の負担を分けようと動きだして、今月中に会議をすることになりました。

スタッフもスタッフ以外の方もこのメディカルカフェをどのように広め継続していったら良いか、真剣に考えていることが素晴らしい収穫だったと思います。

大学の中にあるエーシュリーというレストランでの夕食会では、「今回、日本と韓国と中国の 3 か国がともにできることは、医療や健康に関すること以外なかなかできるものではない。すごいことだ。」と樋野先生がコメントしてくださり、今回の感想を 1 人 400 字から 800 字にまとめること、日本語と英語に訳し本を作ることなど、指導して下さいました。来年こそは！！実行したいです。

韓国の方ががん哲学外来メディカル カフェを理解して共感し継続が可能だろうか。

この事がずっと疑問でした。

(次ページに続く)

今回のメディカルカフェとカンファレンスを通して確信できたことは、真理は世界共通だということでした。

先生の講演を夢中になって聴いている姿に本物は通じるということを感じ、これからも継続していく上で大いに励みになりました。

お忙しい中、快く韓国に足を運んでくださり「うん、なんでも良いよ」と周囲に溶け込んでくださる樋野先生と奥様のジーンさんに心から感謝申し上げます。

また、祈り温かく見守って下さるコーディネーターの青木さんと森さん、教会の方々、全てを益として働いてくださる神様に感謝します。

夜明け前の暗闇がとても暗く感じる、この時代に小さな光りがますます輝きを増していくメディカルカフェになりますように、祈りつつ励んで行こうと思っています。

心からシャローム

ありがとうございます。



제11회
메디컬카페 in 서울
[히노 오키오 박사 초청]
2024년 10월 17일(목) 오전 10시~12시

- 장 소: 명지대학교 서울 인문캠퍼스 국제관 4713호 (7층)
- 예약 및 문의: 010-6630-3353 / 010-6567-5533
※ 사전 예약 필수이나 당일 참석도 가능합니다.

메디컬 카페란?
준텐도대학병원에서 근무하던 히노 오키오 박사를 통해 일본에서 시작된 메디컬카페는 의료 현장에서 불안에 떠는 암 환자와 의료진 사이의 간극을 매우기 위해 환자와 그 가족들의 속마음을 듣고 언어 처방전을 전하는 목적으로 "암철학외래"를 개설하였다. 이 활동은 많은 암 환자와 가족들에게 희망이 되었고, 그 활동반경이 확대되어 일본전역에 "암철학외래카페(메디컬카페)"로서 퍼지고 있다.

【히노 오키오(樋野興夫) 박사】
• 1954년 시마네현 출생 의학박사
• 일본 준텐도대학(順天堂大学) 명예교수
• 준텐도대학 의학부(병리, 종양학) 객원교수
• 사단법인 암철학외래 명예이사장, 케이센여자대학 이사
• 일본 암 연구회 암 연구소, 미국 아인슈타인 의과대학 간 연구센터, 미국 Fox Chase Cancer Center 등을 거쳐 현재 활동
• 2002년 암연구회 학술상 수상
• 2003년 타카마쯔 미야히 암연구기금 학술상 수상
• 2018년 아사히 암 대상 수상

【번역저서】
• 질병은 인생의 여름휴가
• 내일 세상을 떠나도 오늘 꽃에 물을 주세요
• 위대한 참견

후 원 : 명지융합헬스케어연구소

2024년 第2회
融合ヘルスケア研究所 学術祭
<日韓中のセミナー>

テーマ:
東北アジアにおけるヘルシーブレッジャーとヘルシーエイジングの適用

1. 韓国- 韓国社会でのヘルシーブレッジャーとヘルシーエイジングの意味 (Professor Lee Jae-beom)
2. 日本- がん哲学外来メディカルカフェの理解と実際 (Dr. Okio Hino)
3. 中国- 北東アジアの健康高齢化のフロンティア探求 健康と快楽応用の革新と実践 (Dr. GUAN PEIGUO, Professor YIN HONGLAN, Professor LIANG DONG)

in KOREA
2024.10.17
2th

日時 2024.10.17(木) 午後 2-5時
場所 明知大学人文キャンパス行政棟5階セミナー室

MYONGJI UNIVERSITY